

研究倫理教育プログラムの履修の義務化

JSTは、事業に参画する研究者等に対して、研究倫理に関する教材の履修を義務付けています。研究機関は対象者が確実に履修するようご対応ください。

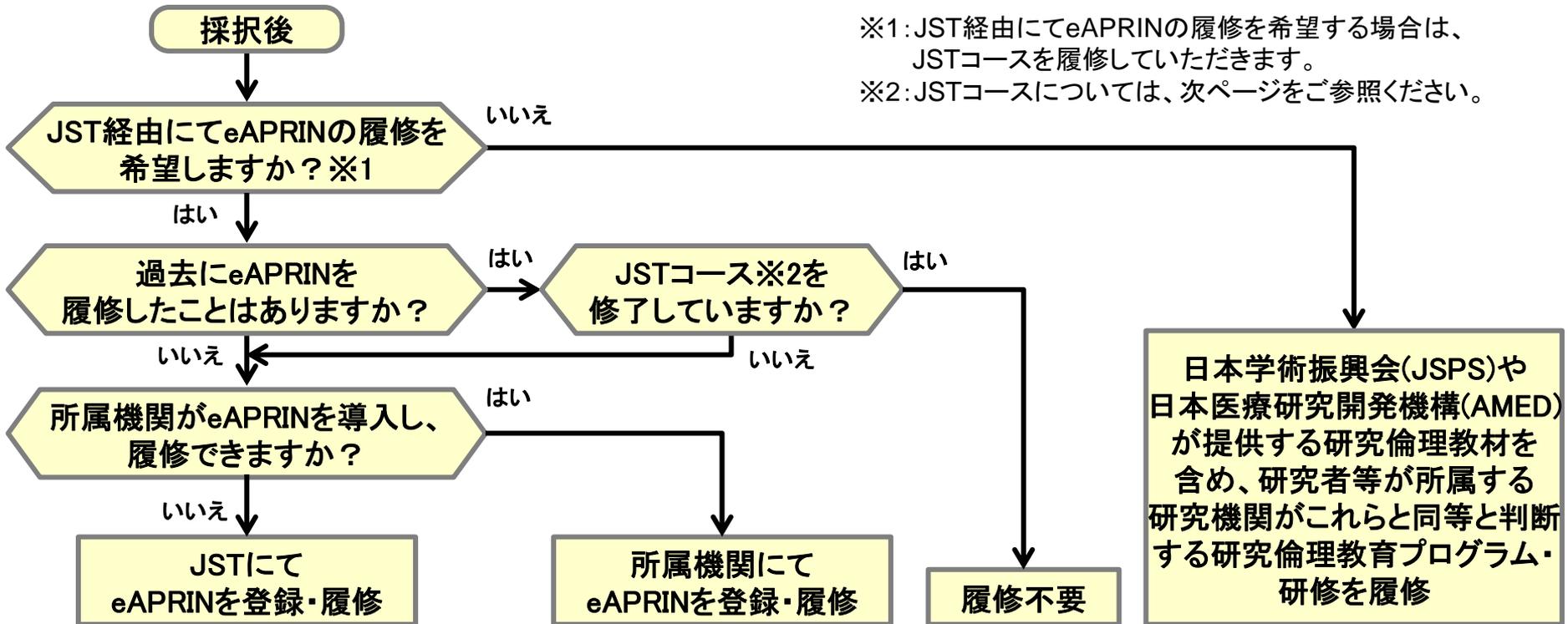
研究倫理教育プログラムの例

- 一般財団法人公正研究推進協会が提供する「eAPRIN」
- 日本学術振興会が提供する「eL CoRE」
- 日本学術振興会「科学の健全な発展のためにー誠実な科学者の心得ー」
- 日本医療研究開発機構「事例から学ぶ公正な研究活動ー気づき、学びのためのケースブッカー」
- 日本医療研究開発機構「研究公正におけるヒヤリ・ハット集」
- その他、所属する研究機関が上記と同等と判断する研究倫理教育プログラム・研修（研究機関が同等と判断する場合は、JST が提供する映像教材「倫理の空白」も認められる。）

履修義務不履行の場合は、委託研究費の全部又は一部の執行停止となりますのでご注意ください。

JST経由にて 研究倫理教育プログラムの履修を希望する場合の手続き

- 既に、所属機関が定める研究倫理教育プログラムを履修済の方は、JST経由で、研究倫理教育プログラムを履修いただく必要はありません。
- JST経由にてeAPRINの履修を希望する場合は、研究代表者から、各事業担当に、手続きを実施していただきます。



JST経由でeAPRINを登録した場合は、JST研究公正課から、直接、各研究者へ、ユーザ名及び受講案内の通知メールが届きます。

(ご参考) eAPRIN JSTコースのご案内

特徴

- ・オンラインで24時間、單元ごとに受講が可能。時と場所を選ばない学習スタイル。
- ・文部科学省 大学間連携共同教育推進事業「研究者育成の為の行動規範教育の標準化と教育システムの全国展開」およびNPO法人日米医学教育コンソーシアムにより、米国で用いられている研究倫理教材を骨格として、日本の法律・指針その他に沿って作成。

JSTコース

<1. JSTコース(1)(生命医科学系)>

- 1.責任ある研究者の行為について
- 2.研究における不正行為
- 3.データの扱い
- 4.共同研究のルール
- 5.オーサーシップ
- 6.盗用と見なされる行為
- 7.公的研究費の取扱い

<2. JSTコース(2)(理工系)>

- 1.研究不正
- 2.工学研究におけるデータの管理上の倫理問題
- 3.責任あるオーサーシップ
- 4.理工学研究領域の論文発表とピア・レビュー
- 5.理工学分野における共同研究
- 6.研究者・技術者の社会的責任と告発
- 7.公的研究費の取扱い

<3. JSTコース(3)(人文系)>

- 1.研究活動における不正行為
- 2.人文学・社会科学分野における盗用
- 3.共同研究とオーサーシップ
- 4.ピア・レビューと利益相反
- 5.公的研究費の取扱い

- ・日本語版・英語版 あり。
- ・いずれのコースも必修単元の履修に3～4時間程度要。(各単元の履修に30～40分程度要。)
- ・「責任ある研究行為ダイジェスト(Digest Version)」は不可。ダイジェスト版を履修済みの場合も上記のJST指定単元を受講する必要があります。
- ・上記單元名は、令和6年1月現在です。

【参考】eAPRINの教材一覧(<https://www.aprin.or.jp/form0/modulelist.pdf>)